

安中市 議会だより



◆発行日 平成26年4月18日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 (株)ヒューマンサポート

「秋間梅林」

約50ヘクタールの広大な丘陵に約35,000本の紅白梅が咲き誇る梅林です。
開花期間中は多くの観光客でにぎわいます。



平成二十六年安中市議会第一回定例会は、二月二十七日から三月十八日までの二十日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、人事案件や条例の一部改正など二十一件、平成二十六年年度予算関係が九件、あわせて三十件が提出されました。

定例会のあらまし

- ◇27日〓本会議 会期の決定、議案二十一件を上程（内一件を即決）、議案を各委員会に付託。
- ◇28日〓本会議 施政方針、平成二十六年年度予算関係九議案を上程。意見書案一件を可決。予算審査特別委員会を設置、同委員会に付託。
- ◇4・5日〓予算審査特別委員会
- ◇7日〓総務文教常任委員会
- ◇10日〓福祉民生常任委員会
- ◇11日〓経済建設常任委員会
- ◇12日〓本会議 一般質問
- ◇18日〓本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案二十九件を原案可決。閉会。



今定例会における一般質問は、3月12日に行われ、7名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう！

次の定例市議会は、
6月3日～6月13日
までの予定です。



地域包括ケアシステム・子供の貧困問題について

公明党 武者 葉子

地域包括ケアシステムの仕組みについて

問 全ての団塊の世代が、七十五歳を迎える二十五年を見据えた、地域包括ケアシステムとは、どんな仕組みなのか。

答 支援や介護を必要とする高齢者に在宅医療、訪問看護、介護サービス、見守りや買い物などの生活支援を協働連携し、住み慣れた地域で可能な限り生活を継続していくための仕組み作りです。

問 本市の取り組み状況は。

答 ケアシステムの必要性を広く市民へ普及啓発し、医師、歯科衛生士、看護師、薬剤師、保健師、社会福祉士、ケアマネージャーなど在宅チーム医療を担う人材育成研修や「要援護高齢者等支援ネットワーク」、地域ケア会議などを開催し、社会基盤の整備を進めています。

問 市の実施計画について

問 地域包括ケアシステムの今後のスケジュールは。

答 日常生活圏域ニーズ調査から、地域の実情に応じた各種サービスの設定、整備計画を立てます。また、介護予防サポーター、認知症サポーターなど担い手づくりや、筋肉トレーニングの普及などの予防事業を推進し、夏頃出される国のガイドラインに沿った計画を検討します。

その他、子どもの貧困問題について質問しました。



地域包括支援センター相談窓口

学校通学路・観光商業振興と まちづくりについて

民声クラブ 佐藤 貴雄

学校通学路について

問 下校時、子どもが一人になる一人区間への対応はどうか。

答 職員が適宜同伴する、保護者・安全協力の家への協力要請、防犯ブザー携帯の推奨等です。

問 かけこみ一〇番の店や子ども安全協力の家の連携・活用として、子どもが教師や保護者と歩き、所在確認をしながら地図化する等の取り組みはどうか。

答 地域とともに子どもを守る意識高揚にもなり、周知について学校とも検討します。

問 自転車通学時の危険箇所についての認識と対応はどうか。

答 学校の改善要望を受けている箇所もあり、安全走行に危険な路線は整備していきます。

観光商業振興とまちづくりについて

問 大河ドラマの経済効果は。

答 具体的な数字はありませんが商業振興の成果がありました。

問 新島襄記念資料館の建設と消費意欲喚起の取り組みはどうか。

答 場所選定中です。関係資料と関連グッズ販売も検討します。

問 富岡市・軽井沢町との広域観光連携での活性化と商業振興は。

答 本年度から協議会を発足し、相互の誘客等、商業振興にもつなげていきます。

問 県の観光振興条例やWiFi整備等の連携はどうか。

答 県とともに魅力ある観光地づくりに積極的に取り組みます。



かけこみ110番の店

市民の安全安心について

清風クラブ 柳沢 浩之

雪害対策について

問 二月の記録的な豪雪に対して市民への情報伝達や除雪作業において国・県等との緊急対策はどのように行ったのか。

答 市民への情報伝達は、防災行政無線、メール配信サービス等で行いました。除雪作業は、道路管理者が異なる道路の除雪指示はできませんでした。今後道路管理者との連携を図ります。

問 今回の豪雪に対して、危機管理室の機能が発揮できたのか。

答 危機管理室の機能は発揮できませんでした。今回を教訓に全庁的な危機管理体制の構築を検討していきます。

問 地域防災計画に雪害対策も明記すべきではないか。区長等からの、孤立して危険な世帯の情報提供の内容は。

答 防災会議で雪害対策も検討していきます。命の危険がある世帯や一人暮らしの高齢者世帯の

連絡を頂きましたが無事でした。

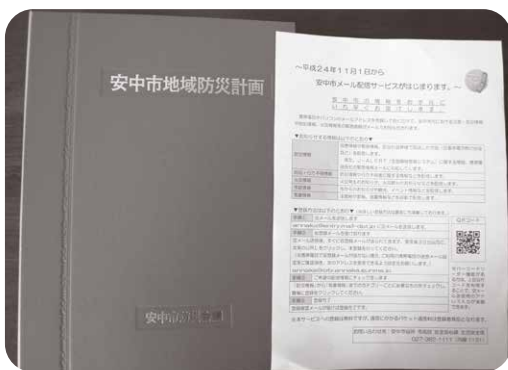
問 今回の豪雪による被害状況については。

答 被災証明書の発行は、二百七件であり、今後も多数の申請が予想されます。

問 支援金制度を決定したが、市民へ周知徹底する方法は。

答 ホームページや広報を活用し周知徹底を行います。

その他、防犯・防災における市民への情報伝達のあり方、防犯灯について質問しました。



地域防災計画とメール配信登録案内

西毛広域幹線道路の市対応・雪害対策・ 郷原地区廃棄物中間処理施設計画について

平成の会 吉岡 完司

豪雪被害対策と教訓・特別支援教育・ 英語教育について

日本共産党安中市議団 金井 久男

西毛広域幹線の市対応について

問 当市の優先区間として、国道十八号市役所入口交差点から下秋間まで事業着手した現在の状況はどうなっているのか。

答 安中工区一・八キロメートル区間について、橋梁二か所とトンネルの設計及び用地調査・物件調査を実施し、用地交渉に入ると聞いています。

問 当市の優先区間以下の富岡までの安中・富岡工区の今後の進捗状況は。

答 未着手区間は、平成三十四年度までに着手予定の事業として計画が示されているが、早期の全線開通に努力していきます。

雪害対策について

問 今回の除雪に対する市の初期対応について、職員の招集状況や各方面への指示状況は。

答 異常な積雪量のため担当課職員が徒歩で出勤し除雪の連絡体制を整えたが、除雪に携わる一

部の事業者の対応が遅れました。

問 早期に警戒本部を設置し、その後災害対策本部を設置すべきだが遅れてしまった状況は。

答 大雪になる予想ができず、職員を招集し対策本部を設置するまでに時間を要しました。

問 被害を受けた市民に対して市のできる万全な対策を。

答 被害者の支援対策は個人の住宅や農業用施設等の支援を行う。その他、郷原地区廃棄物中間処理施設計画について質問しました。

豪雪と除雪対策について

問 除雪が遅れたが除雪契約している業者への対応、指示など実態はどうだったのか。

答 異常な積雪により、国道・県道も交通マヒとなり、十九業者に除雪の要請をしましたが、思うように進みませんでした。

問 狭い道路、路地などで雪のやり場に困ったが、事前に雪捨て場の確保が必要ではないか。

答 今回は、市有施設の広場と河川敷などの雪置場を十六か所開放しました。

特別支援教育、支援員などの待遇改善について

問 特別支援教室や発達障害児のための支援員の人数、待遇改善の計画は予定されているか。

答 支援教育助手が十九名、生徒指導推進支援員を二十五名配置しています。次年度から時給三十円引き上げる予定です。

英語教育とALTの実態について

問 現在のALTの授業受け持ち学級数は一人あたり何クラスか。

答 一人あたり平均で十六クラスになっています。

問 他市との比較で生徒がALTと接触できる時間数が少ないと思うが実態はどうか。

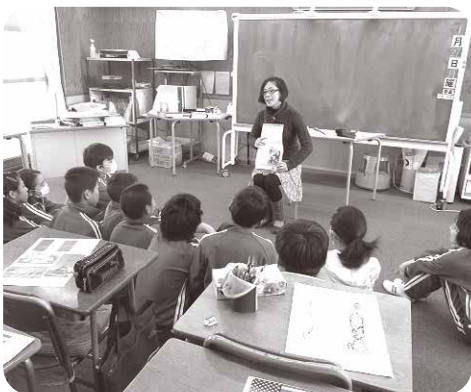
答 富岡市ではALTが授業に参加するのが九〇から六〇%ですが、本市では三三%です。

問 ALTを増員して授業参加率を引き上げるべきではないか。

答 すぐにでも二名は増員したい。



西毛広域幹線道路(富岡市内)



ALT授業風景

災害対策・福祉対策・市営墓地について

民主・社民クラブ 小宮 ふみ子

災害対策について

問 大雪災害を踏まえ、今後の対策は。

答 豪雪災害を教訓に早期の除雪や情報把握し、準備体制を整えていきます。

問 除雪に係る総務省の特別交付税を要望するのか。

答 本市も該当するが単なる前倒しであり、要望しません。

問 自然災害や不測の事態の管理体制は。

答 人命に係る緊急事態の対応を優先し、被災者の軽減を図ると共に住民の自己防衛意識の喚起も図ってまいります。

福祉対策について

問 高齢者世帯の認知症の取り組み状況は。

答 早期発見・早期対応し知識を高め、普及啓発が必要です。二次予防事業に努め相談業務を実施しています。

問 これからの高齢者見守り支援



大雪状況

は。

答 地域支え合い体制づくりと互助機能を働き掛けていきます。

市営墓地について

問 市営墓地建設用候補地の要望書のその後は。

答 平成二十一年十一月に秋間地区、平成二十三年十二月、東横野地区から一定数の連名により提出されています。内容としては、いずれも市営墓地の候補地としての提案です。

エネルギー対策・住宅リフォーム助成制度について

日本共産党安中市議団 櫻井 ひろ江

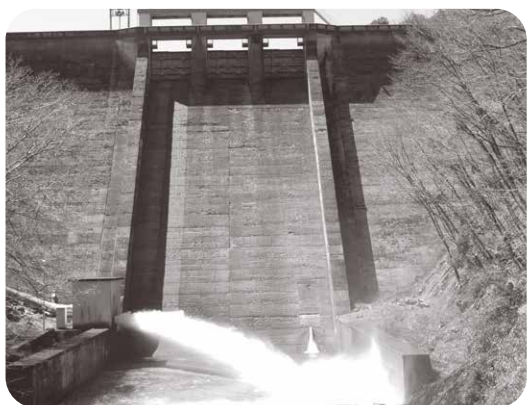
自然を生かしたエネルギー対策について

問 太陽光や太陽熱等のエネルギー以外についても、現実化に向け、もっと積極的に取り組むべきではないか。

答 小水力発電の可能性については、民間調査会社の自主的な調査では出力が小さく、実際に設置するには課題も多い状況ですが、導入しやすいエネルギーであり、県の調査支援事業の活用も視野に積極的に取り組みます。

再生可能エネルギーで電力の地産地消をめざすことについて

問 中之条町では、町と民間が出資した新電力（特定規模電気事業者）法人を立ち上げ、太陽光や小水力、バイオマス発電所等から電気を買って、役場や学校等の公共施設への売電をする、地産地消に取り組んでいる。本市での可能性についてどう考えるか。



中木ダムの放流

答 市が関与する電力法人等について、直ちに実現することは困難ですが、先進地の状況や、国の制度整備の動向、他市町村の関わり方等、各種情報を注視しながら、実現の可能性について検討します。

問 本市の電力の地産地消についてどう考えるか。

答 「環境基本計画」の見直しで、地産地消の観点も視野に入れて総合的に検討します。その他、一項目を質問しました。

一般会計並びに5つの特別会計と3つの事業会計を可決 平成26年度一般会計予算287億8,600万円

予算審査特別委員会での主な質疑内容

平成26年度 各会計予算

(単位：千円)

会 計 区 分	平成26年度予算額	平成25年度予算額	比 較	
一 般 会 計	28,786,000	26,251,000	2,535,000	
特 別 会 計	国民健康保険	7,817,183	7,430,836	386,347
	後期高齢者医療	707,888	670,789	37,099
	介護保険	5,772,244	5,535,997	236,247
	下水道事業	1,181,389	1,083,275	98,114
	健康増進施設恵みの湯	204,319	197,304	7,015
事 業 会 計	水 道	2,511,029	2,530,075	- 19,046
	病 院	3,508,097	3,111,842	396,255
	介護サービス	51,801	52,393	- 592
合 計	50,539,950	46,863,511	3,676,439	

予算は、歳入・歳出の見積りを主たる内容とし、議会の議決により成立するものです。

重要案件ですので、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会を設置し、活発かつ慎重に審議いたしました。

審査の中で行われた主な質疑は次のとおりで、それぞれ執行部から答弁がありました。答弁の内容は、紙面の都合で省略させていただきます。

一般会計歳出

【総務費】

- 魅力あるコミュニティ助成事業補助金について
- 防犯対策事業について
- 街路灯管理事業について
- 防犯灯のLED化について
- 路線バス対策事業について
- デマンド運行について
- OA推進事業について
- 福利厚生事業について
- 文書管理事業について
- 特定秘密保護法について

【民生費】

- 発達障害児支援事業について
- 子ども子育て支援事業について
- 自立支援給付事業について
- 臨時福祉給付金給付事業について
- 子育て世帯臨時特例給付事業について
- 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金について
- 一時預かり事業補助金について
- 保育園耐震診断促進費補助金について
- 地域活動支援センター事業について
- 福祉医療費助成事業について
- ふれあい・いきいきサロン事業補助金について
- 生活保護について
- 介護予防施設について
- 古紙行政回収事業について
- 定期予防接種事業について
- 保健師の人数について
- 放射線対策事業について
- 食生活改善推進事業について
- すみれヶ丘聖苑管理運営事業について

○公害対策事業について

【労働費】

○勤労者住宅建設資金利子補給補助金について

○勤労者生活資金融資促進事業について

○雇用創出事業について

【農林水産業費】

○有害鳥獣対策事業について

○猿害対策補助金について

○農業政策が政権交代によりどのように変えられていくのか

【商工費】

○峠の湯建設工事について

○めがね橋駐車場のトイレ整備について

ついて

○国民宿舎事業について

○富岡市・安中市・軽井沢町広域観光連携協議会負担金について

○横川駅周辺地域整備事業について

○企業誘致奨励金について

○碓氷峠の森公園事業について

○企業誘致促進事業について

【土木費】

○道路維持補修事業について

○道路新設改良事業について

○陳情・要望の処理状況について

○橋りょう維持補修事業について

○市営住宅住戸総合改善事業について

○木造住宅耐震工事費補助金について

【消防費】

○防災行政無線事業について

○消火栓新設等負担金について

○消防団詰所の新設について

○車載用無線について

○防災無線の放送基準について

【教育費】

○板鼻体育館建設事業について

○幼稚園就園児補助金について

○発達支援通級教室設置・運営事業について

○体育施設管理事業のレンタルAED制度について

○安政遠足四十回記念大会事業について

○小学校エアコン設置事業について

○関所史料館新築事業について

○借入金償還金について

○公債費比率について

一般会計歳入

○市民税・固定資産税の減額の要因について

○地方交付税増額の要因について

○財政調整基金の運用と今後の見込みについて

○ふるさと創生基金繰入金の使途について

○市債の増額について

○臨時財政対策債について

○介護予防サービス計画費収入について

○新庁舎建設について

一般会計反対討論

国の予算は消費税を三%増税することで八兆円も国民の負担を増やし、年金・医療・生活保護などの社会保障の給付削減を押しつけています。法人税減税と復興特別法人税も一年前倒しで廃止するなど大企業優遇です。低所得者対策で「臨時福祉給付金」が予算化されていますが、焼け石に水です。消費税増税の影響は、上下水道事業をはじめ、病院事業など七事業にも及びます。

国土強靱化計画に沿って、これまでの補助事業主体から、一気に二・四四倍に単独普通建設事業が伸びていますが、年度内に完了させることが可能なのが疑問です。市税の減少、特に個人市民税とともに法人市民税が二年続いて落ち込んでいます。景気回復が見込めず、消費税増税による消費不況で個人所得がさらに落ち込むことを見越したら、とても先行き不安の顕著な予算案といわざるを得ません。



新築された消防団詰所

平成二十六年年度一般会計の予算総額は、前年度対比九・七％増となっておりますが、その大きな要因は、火災から再建を目指す峠の湯建設事業の増加によるものです。財源の根幹となる市税は、法人市民税が減収を見込んでいますが、反面、地方交付税が七五％増と大幅な増収が見込まれています。歳出面では、し尿処理施設設備の改良事業や市立保育園・九十九生涯学習センター・峠の湯等の大きな公共建設事業の他に、発達障害児支援事業・おたふく風邪と水痘の予防接種全額補助事業等が盛り込まれています。これらは時代に即応したもので、子育て支援につながります。全体としてバランスがとれた予算ですが、課題もあります。特に、路線バス対策事業では、現状を見直し、デマンド型運行の拡充を図るなど、利用者の立場に立った施策が急がれます。投資的経費の標準化と徹底した無駄の削減を要望し、賛成討論とします。

豪雪被害からの生活再建及び早期復旧に関する意見書

2月14日から15日にかけて、群馬県を直撃した観測史上最高の記録的な豪雪により、本市では、国道18号の長時間にわたる通行止めなど主要幹線道路において交通麻痺が発生し、大規模かつ長時間にわたる停電、孤立状態となった世帯の発生、多数の家屋や車庫の損壊等、これまでにない被害が発生した。

また、農業被害も極めて深刻であり、市内全域で収穫中の野菜が壊滅的な被害を受け、農業用ハウスの大半が倒壊し、収穫を間近に控えた作物は全滅または出荷できない状況となる甚大な被害が発生した。

本市では、被災の直後に災害対策本部を設置し、多数の避難所を開設するとともに、非常用食料の配付や除雪等に全力をあげて対応してきたところであり、また、国や県においても速やかな対応が図られ、災害救助法の適用による援助や防災ヘリによる対応等が行われた。

しかし、今回の観測史上最高の記録的な豪雪が残した被害は甚大であり、被災者の生活支援・復興には、国や県による更なる強力な支援が必要である。また、国道などの主要幹線道路において今回のような交通麻痺が起こった事態を検証し、今後に生かすことも必要である。

よって、国、県におかれては、豪雪被害からの生活再建及び一日も早い復旧・復興を図るため、下記の事項について、緊急かつ特段の支援措置を講じられるよう強く要望する。

記

1. 激甚災害の早期指定を行い、財政的救済措置ならびに特別交付税等財政支援措置を講じ、被災地域における社会基盤の早急かつ適切な復旧をすること
2. 被災者生活支援制度を拡充すること
3. 被災者に対する税制上の特別措置を講ずること
4. 被災施設の再建に向けた助成事業を実施し、被災農家等の経営再建に向けた支援体制を強化すること
5. 農畜産物被害による収入の減少に対する助成を講ずること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年2月28日

安中市議会議長 伊藤 清

議会運営委員会行政視察報告

昨年十月下旬、本委員会では、

宮崎県延岡市において、「議会運営について」「議会改革の取り組みについて」調査研修視察を行いました。延岡市では、一般質問の質問回数制限はなく、代表質問も取り入れています。請願陳情は要件を満たしていないもの等については、議会運営委員会にて取扱いを協議し、意見書の協議は議会運営委員会で調整する等が本市と異なる点であります。代表質問については本市でも検討中です。

延岡市の議会改革では、住民の行政に対するニーズの多様化、情報公開や行政への住民参加により、議会としても政策立案機能の充実強化が求められていることから、時代に即した議会活動を目指すため、特別委員会を設置し、「政策形成機能の強化」「会議の活性化」「住民参加・住民との協働」「議会公開・透明性の確保」の四つの基本理念に基づき、調査・研究を

行っています。さらに、議会基本条例制定特別委員会と議会のあり方検討特別委員会を設置し、

- ① 市民への議会アンケート
- ② 作業部会による原案協議
- ③ 条例案完成段階での市民説明会
- ④ 基本条例の検証及び積極的な議会活動に関する協議
- ⑤ 議員定数・議員報酬等の検討

を行っています。本市においても議会改革検討委員会の中で協議中ですが、他市を参考にしながら開かれた議会を目指していきます。



議会改革の取り組みを学ぶ

人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

○人権擁護委員

東上秋間

堀越順子様

人事関係以外の議案

○議会の議員その他非常勤の職員

の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

○安中市学習の森条例の一部を改正する条例について

行政機構の見直しにより、学習の森の課名が、文化財保護課に変更されることに伴い、条例の一部を改正するものです。

○安中市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について

安中市たいとう学童クラブの新設に伴い条例の一部を改正するものです。

○安中市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部を改正する条例について

一般廃棄物の収集及び運搬並びに処分に関して徴収する手数料を外税方式から内税方式の記述に変更した総額表示とし、条例の一部を改正するものです。

○安中市小口資金金融促進条例の一部を改正する条例について

期限を限定した借換制度が県において二十六年度も継続が決定されたことから、本市でも継続して中小企業者の支援を行うべく、条例の一部を改正するものです。

○安中市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について

○安中市公園条例の一部を改正する条例について

現行の条例においては、花火・キャンプファイヤー等の火気の使用については許可が必要でありましたが、バーベキュー施設については、バーベキューを目的とした火気の使用を許容し、許可を不要とするため、条例の一部を改正するものです。

○安中市たいとう学童クラブ公の施設の指定管理者の指定について

○国民宿舎裏妙義公の施設の指定



新設された「たいとう学童クラブ」

- 管理者の指定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 平成二十五年安中市一般会計補正予算 (第四号)
- 平成二十五年安中市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)
- 平成二十五年安中市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第一号)
- 平成二十五年安中市介護保険特別会計補正予算 (第二号)
- 平成二十五年安中市下水道事業特別会計補正予算 (第一号)
- 平成二十五年安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計補正予算 (第一号)

- 平成二十五年安中市水道事業会計補正予算 (第二号)
- 平成二十五年安中市病院事業会計補正予算 (第二号)
- 平成二十五年安中市介護サービス事業会計補正予算(第一号)

意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることが出来るものです。

今定例会には、一件の意見書(案)が提出され、可決されました。可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国や県の関係省庁に送付しました。

- 《可決された意見書》
- 豪雪被害からの生活再建及び早期復旧に関する意見書 (本文を八ページに掲載しましたのでご覧ください。)

請願・陳情

皆様から提出されました請願および陳情の審査結果は、次のとお

りです。

《採択となったもの》

- 五料運動場(旧ゲートボール場)芝生改善に関する請願

次の定例会(予定)

次の定例市議会は、六月三日から六月十三日までの十一日間の会期で開催される予定です。

- ◇3日 本会議 開会、議案の上げ等
- ◇10日 本会議 一般質問
- ◇11日 本会議 一般質問
- ◇13日 本会議 委員長報告、採決等、閉会



学習の森

編集後記

穏やかな春は穀雨の候、草木も芽吹く気持ちのよい季節を迎えました。

市議会第一回定例会直前の記録的な大雪は、本市では例のない雪害をもたらしました。一般質問でも多くの議員が取り上げたとおり、今後の対策もじっくりしていかなければなりません。被害にあわれた市民の皆さまにお見舞い申し上げますとともに、ボランティア等でご協力いただいた皆さまにも御礼申し上げます。

前号より紙面を一新した「安中市議会だより」も、現在検討中の議会改革と歩調を合わせ、開かれた議会を目指します。(佐藤)

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎ 382-1111 内線 1349番

編集委員

- ◎小宮 ふみ子
- 櫻井 ひろ江
- 佐藤 貴雄
- 今井 敏博
- 武者 葉子
- 柳 沢 浩史
- 小林 訂司
- 吉岡 完